

沖研通信ゆいゆーる

第2号
2010年5月31日発行
編集:広報委員会
沖縄県診療情報管理研究会

県立宮古病院



CONTENTS

新年度に向けて	2
平成 21 年度診療情報管理士 認定試験直前対策勉強会	2
沖研勉強会報告	3
地域ミーティング報告	4
名桜大学・真喜屋尚美教授	5
ゆんたく広場	5
沖研施設会員紹介コーナー	6・7
お知らせ	8

沖縄県診療情報管理研究会 新年度に向けて！

平成 22 年も早 5 ヶ月が過ぎ、沖縄県は梅雨の季節となりましたが、皆様は、如何お過ごしでしょうか。また、各医療機関におかれましては、今年は診療報酬改定が久々のプラス改定で、施設基準取得の準備、点数確認等で忙しかったかと推測いたします。お疲れ様でした。

平成 18 年に沖縄県診療情報管理研究会は発足し、事務局、教育担当、広報とそれぞれ役割で活動を続けて早 4 年が経過しています。沖縄県は他府県と比較しても、診療情報管理士通信教育受講者が多く、各月に開催していますコーディング勉強会には、多くの方が参加して熱心に勉強されています。DPC 対象病院の増加に伴い、医事課職員及び診療情報管理室にて業務される職員が資格取得はもちろんの事ですが、適正なコーディング・請求へのスキルアップのため一生懸命さが伺えてうれしくなります。平成 22 年度は各月の勉強会に加え、7 月にはセミナー開催も予定しています。また、各医療機関で困っていること（コーディング、管理業務、統計作成等）を勉強会終了後にディスカッションし情報の共有化も行っています。困っていること、悩んでいることをどんどん当研究会メール又は、勉強会の際投げかけてください。各医療機関の方法及び先輩の診療情報管理士がきっと適切なアドバイスをくださると思います。

昨今、診療情報管理士への認識が深まり、期待が高まるにつれ、診療情報管理士はさらに高い能力を求められるようになってきました。私たちは、診療録管理、記録監査、データ抽出、DPC、がん登録、個人情報開示等多くの期待に応えることができるよう努力しなければなりません。

これからも一緒にがんばりましょう。



平成 22 年 5 月吉日
沖縄県診療情報管理研究会
副会長 系数民子

平成 21 年度診療情報管理士 認定試験直前対策勉強会

直前対策勉強会を振り返って

浦添総合病院 古謝優子

日増しに春らしくなってきました。花の便りに心の浮き立つ今日この頃、認定試験を受けた皆様には嬉しい便りが届いてますでしょうか？



1 月の直前対策勉強会では、役員の方々のご協力を頂き無事に終えたことにホッとしております。本当に有難うございました。今回は全てにおいて準備不足であったために役員の皆様、大変ご迷惑をおかけいたしました。反省しております。しかしながら皆様の底力を感じさせられました。

会場運営での嘉手苅さんは病気を押しての協力や機転の利いた対応をしてくれた大城さん、真喜志さん、系数さん、野崎さん、外間さん、柳さん、また特に模擬問題の作成をして頂いた内村さん、長浜さん、上野さん忙しい中での準備、大変だったと思います。役員の皆様の一人一人の協力がなければ出来なかったと思います。

勉強会に参加された方から本番は落ち着いて試験に向かうことが出来た。というお言葉も頂き嬉しく感じました。まだまだ至らないところはありますが、次回からは反省点を元に、より良い運営が出来るように頑張っていきたいと思います。



沖研勉強会報告

沖研講師初体験と今後の抱負

沖縄県立中部病院 嘉手苺林俊



2月勉強会で講義を初めて担当しました。実は急な予定変更でしたので、当日の朝まで講義原稿の作成に追われました。内容や評価はさておき、何とか持ち時間一杯で終了でき、ホッと胸を撫で下ろすことができました。医療制度の変遷と共に診療情報管理士の職務多様化が進んでいますが、私は機会がなくて診療情報管理士実務には携わっていません。それでもICDコーディング以外の分野で教育委員としてお役に立てればと思います。



沖縄県診療情報管理研究会初参加について

禄禄寿会 小禄病院医事課 与那嶺裕治

季節は日増しに暖かになりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか、例年のごとく2年に一度の診療改定作業で私は毎日充実した忙しい日々を送っています。私は現在、医事データとDPCデータ活用を模索している中、沖研主催の【医療データの活用と統計】と題された勉強会が開かれることを聞きし、初参加させて頂くことになりました。

講師の嘉手苺さんのこれまで苦労と経験された事例の発表は大変勉強になり、またDOSシステムや昔のカード型データベースなど、パソコン好きの私には興味深い講演内容でした。

その後開かれたグループディスカッションでは医療機関が必要とするデータについてグループ別で話し合っ発表した後、参加者の意見を司会の長浜さんに用意して頂いた、リモコン投票でその場で集計、画面表示されたことに驚きと面白さを感じました。(沖縄でこんな機材を使える所は中々無いでしょうね。)定例勉強会の終了後の情報交換会まで参加させて頂き(本当はこっちが一番大事かも)、他の参加者の皆さんと業務内容や世間話など、色々な話が出来て大変楽しかったです。



PS:給料日前はビクビクします



日本診療情報管理士会主催による「地域ミーティング」(沖縄地区)の報告



日本診療情報管理士会
沖縄地区担当評議員
長浜宗敏

開催日：2010年2月20日(土)17:00~19:00

場所：浦添総合病院(アルカディア 6F ホール)

テーマ名：世界(全国)に発信しよう沖縄県の診療情報管理」県内における診療情報管理の精度を高めて行くために！第1弾！各施設の抱える問題をみんなで考えよう！！

参加者：16名

今回の地域ミーティングの目的は、日本診療情報管理士会に所属する地域の会員間のネットワークやコミュニケーション作りの支援、少人数の職場で孤立しない為の情報(日常業務の問題)の共有化等を目的に、誰かに何かを教えてもらう、問題の答えを得るだけでなく、一人ひとりが自分の考えや現在抱えている問題点について発言できるような“場”を提供したいというコンセプトのもとに企画されました。開催のテーマや運用方法は、各都道府県の評議員に任せられ、地域の評議員が思考を凝らした様々なテーマで、全国34ヶ所で開催されました。(詳細は日本診療情報管理士会の過去の研修会情報を参照下さい)

沖縄での開催テーマは、沖縄県診療情報管理研究会(通称：沖研)の設立により、県内の診療情報管理士のネットワークが確立されつつあります。その中で沖縄県を全国一精度の高い診療情報管理が行われている都道府県なるように、これからいろいろな取組を行い、その取組みを全国に発信して行きたいという大きな構想(目標)から決めさせて頂きました。

参加者は、ベテラン管理士から資格取って間もない新人管理士まで、幅広い経験や年齢層でしたが、殆どが顔見知りでしたので、和気あいあいとした雰囲気の中でディスカッションが行われました。内容については下記に示しますが、これまで県内では定例会という形でコーディング勉強会や研修会が行われていましたが、個々の医療機関や個人が抱える問題を話し合う機会がなかったので、このような地域ミーティングの

開催は、とても有意義であったと思います。特に経験の浅い管理士や悩みを持つ管理士に対してベテラン管理士からその場で意見やアドバイスが行えたこと、個人が抱える問題や課題が参加者全員で共有することができ、今後のフォロー体制も確立できたことが、主催者側としてとても嬉しかったです。

この企画は今後も継続して開催される予定です。日本診療情報管理士会にまだ所属されていない方は、是非ご入会を検討して頂ければと思います。近い将来、沖縄県が全国一(人口比率)の診療情報管理士が多い都道府県になることを目標に頑張っております。皆様どうぞ宜しくお願いします。

【話し合われた主な内容】

- ・診療情報管理室の運用について、他部署との連携
- ・DPC 運用に関すること、パスの運用、がん登録
- ・診療録の記載基準
- ・統計関係(医療機関の特性に応じた)
- ・院内研修会の運用に関して(情報の発信、運用プロセスなど)
- ・診療録等の運用に関しての医師との対応・教育
- ・人員の問題、業務量の多さ、組織体制の問題
- ・情報管理以外の仕事(医療安全や委員会等)
- ・オーダエントリーシステムと紙診療録の内容の違い(入院時間等)
- ・システムの問題(病歴管理システム等がない中での運用)
- ・情報の一元管理、情報管理の重要性などのアピール方法

【参加者からのご意見】

- ・これまで個々の管理士が抱える問題点について話し合う機会がなかったので、今回の地域ミーティングの開催は非常に良かったです。
- ・全員で話し合うことで、それぞれの管理士が抱える問題を把握することができ、今後は参加者全員で支援やサポートを行うことが可能となりました。

【日本診療情報管理士会に対して要望として報告したこと】

- ・診療情報管理部門の人員配置に関する基準(2000人に1名)の見直し、また診療報酬の加算アップにつながるような取組を行なってほしい。
- ・全国大会や地区研修会を沖縄で開催してほしい。

沖縄県診療情報管理研究会へ

2月14日の診療情報管理士認定試験前日は、Vancouver オリンピック前夜祭のテレビ放映があり、当日は、バレンタインデー・旧正月も重なり世の中がざわめく中、受験者は、国際疾病分類のコーディングや専門科目の最終点検で落ち着かない日を過ごされたことでしょうか。多くの皆様が合格できますように祈っています。振り返れば、通信教育のテキストや受験の方法が時代と共に変わりました。人口の高齢化、受診率の増加に加え、医療技術の進歩により情報は増え続け、情報利用者も多様化しています。病院はIT技術を駆使して増加する医療情報を管理するようになりました。

治療内容は、医師と患者の間で決めることですが、限られた資源の範囲内で費用面、安全面でも最適な医療が求められます。その最も重要な鍵は診療内容に関する情報です。患者の適正な情報を提供できるエキスパートとしての知識を深め技術を身につけ、診療情報管理の問題点や将来展望を良い方向に展開するため、今年、認定試験に合格した皆様と共に新年度の一步を踏み出しましょう。



名城大学国際学群経営情報教育系
診療情報管理専攻
教授 真喜屋尚美

平成 22 年度 沖研事業計画

開催日	勉強会開催内容
2010.6.19(土)	がん登録研修会(沖縄県がん診療連携協議会)
2010.7.25(日)	沖研診療情報管理セミナー・総会 会場: 沖縄県立博物館美術館講堂
2010.8.21(土)	がん登録研修会(沖縄県がん診療連携協議会)
2010.9.11(土)	定期勉強会: 統計 or コーディング&ディスカッション
9.16-17(木-金)	第36回日本診療情報管理学会学術大会
2010.10.16(土)	定期勉強会: コーディング&ディスカッション
2010.11.20(土)	がん登録研修会(沖縄県がん診療連携協議会)
2010.12	休み
2011.1.22(土)	定期勉強会: 統計
2011.2.19(土)	がん登録研修会(沖縄県がん診療連携協議会)
2011.3.19(土)	定期勉強会: コーディング&ディスカッション

内容や日程の変更もありますので、沖研ホームページやメーリングの案内を確認して下さい。



ゆんたく広場



沖研施設会員紹介コーナー

第 2 回目は、豊見城中央病院さんと県立宮古病院さんをご紹介します。

医療法人友愛会 豊見城中央病院

医療法人友愛会 豊見城中央病院は、今年創立 30 周年の節目を迎える事となりました。県内における平成 6 年当時の診療情報管理室(診療録管理室)は、県立病院および殆どの中規模病院で設置されている状況でした。そのような中、産声を上げた当院診療情報管理室について思い起こせば、設立当時おおよそ 2 万 5 千件の入院診療録について、一人で退院番号順から 1 患者 1 番号方式へ変更する忍耐業務を筆頭に、人材調達面や苦難等多々経験し紆余曲折の連続でした。

今日に至るまで医療業界の法制度改正などめまぐるしい変化に対応していく中で、理解し応援して下さいました理事長・院長はじめ関係者の方に改めて感謝しています。

今年、ちょうど高校入学となった格好になる当室は、当初医事課業務と兼任という状況でスタートしましたが約 8 年後に業務独立し、組織については、総務部所属 情報部所属 副院長直轄へと組織の変遷がありました。まるで人が成長を遂げる様子に類似しています。業務内容も年々追加されその都度増員としつつ、現在は 10 名の所帯で DPC 業務、がん登録業務、統計業務を基本業務としています。またバイタリティーあふれる新垣晃副院長兼室長は、頼りがいのある人柄で親しまれ父親的役割を併せ持ち心強い存在感です。

さて、平成 12 年診療録管理体制加算策定以降、資格取得者は毎年増加傾向にあり、“診療情報管理士”という職種も一般的になりました。当室は 8 名が資格取得者です。

また、年々医療を取り巻く環境も変化を遂げていますが、最近では当室の私の周りの環境もついに親子程の年齢差職員が居る事も充実した時の流れを痛感しています。時々一人物思いにふける事も楽しみにしているこの頃です。これからも年齢差を乗り越えた職場仲間と切磋琢磨し、4 年後設立 20 年となる成人式には素敵な大輪の花を咲かせるよう 10 名の力を合わせて邁進していく所存です。

「沖縄県診療情報管理研究会」の皆様、今後とも情報を共有し、お互いに業務レベルアップに努め、院内業務であこがれの部署となるよう日々楽しく過ごしましょうね。

医療法人友愛会 豊見城中央病院

診療情報管理室 外間恵子



沖縄施設会員紹介コーナー

沖縄県立宮古病院

沖縄県立宮古病院 診療情報管理室 スタッフ人数 3名(うち診療情報管理士2名)
業務内容:診療情報管理業務、統計業務、DPC 業務応援(ICDコードチェック)各委員会
参加(診療録委員会、クリニカルパス委員会、コーディング委員会など)

平成14年からカルテ室として、業務を開始。平成20年からは診療情報管理士2名体制となりました。「診療情報管理士に何が出来る?」を考え行動しては、凹む毎日を過ごしておりますが、スタッフ一同元気に挑戦的に楽しんでます。そんなことが出来るのも、診療情報管理士に理解を示していただける環境があるからこそ!と感謝しております。院内各部署のみならず、たくさんの方に可愛がってもらいながら、大きく成長していきたいと思っております。よろしくお祈りします。今年度から『診療情報管理室』と名称を変更しました。

平良里絵(たいら りえ)



沖研『第 3 回診療情報管理セミナー』開催のお知らせ

日程：平成 22 年 7 月 25 (日) 10:30 ~ (受付 10:00 ~)

会場：沖縄県立博物館・美術館 講堂

テーマ：「病院情報管理と医療情報を活用した統計分析」

(セミナー詳細につきましては近日沖研ホームページにアップする予定です)

沖研ロゴマーク募集延長のお知らせ

「沖研通信ゆいめーる」創刊号にてロゴマークを募集しておりましたが、応募数が少なく募集期間を延長することに致しました。誠に申し訳ありません。m (_) m
皆さんからのたくさんのご応募お待ちしております。

なお、厳正な選考の結果、みごと採用された方は沖研から素敵なプレゼントをご用意致します。

(プレゼントは緑本 2 巻・3 巻??・・・どうぞお楽しみ!)

応募期間：平成 22 年 12 月 31 日まで

応募先：沖研、広報担当まで (e-mail : byoreki@heartlife.or.jp)

研究会入会のご案内

研究会にご参加頂ける施設 (個人) の方は、入会申込書に必要事項をご記載の上、メールにて事務局 e-mail : oki-jimukyoku@umin.ac.jp までお送り下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

研究会の運営や活動、入会に関するご不明な点は事務局までお問合せ下さい。

主な活動内容

- * 月 1 回のコーディング勉強会
- * 年 1 回以上の研修会 (県内外から講師を招いて)
- * 研究会広報誌の発行 (年 3 回予定)
- * メーリングによる情報交換、情報提供、質問、相談等

年会費

施設会員 (施設単位ですので施設で申し込む場合は個人での申し込みは不要です)

10,000 円

準会員 (病院・診療所が施設会員ではなく個人で申し込む場合)

3,000 円

賛助会員 (企業を対象としています)

1010,000 円より

【編集後記】広報委員 ななめ@あんちー特派員 in ていーだブログ

お待たせしました！待ってた方も、そうでない方も「ゆいめーる」第 2 号です。沖研会員みなさんのおかげで、第 2 号の発刊にこぎつけました。ありがとうございます。感想など ML に流してくれるとウレシイなー♪と思います。これからもご声援ご指導よろしくお願ひします。「たいらまもるくん」が宮古島市に婿入りして「みやこまもるくん」に・・・TV 出演したりする「みやこまもるくん」が、遠い人になった気がしてしょうがありません (>>)

